

令和3年度 租税教育活動の選定結果

<最優秀賞>

局 連	実施会・対象・ 参加人員	概 要
福 岡	○佐賀（佐賀） ○小学6年生・中学 生1～3年 ○22クラス 702名	<p>【税金を通して佐賀の未来を考えよう～もしも私が佐賀県知事だったら～】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師役の青年部会メンバーが、タスキやハチマキなど実際の選挙を意識させる姿で知事候補として登場。 ・「商工費でテーマパークを誘致」といった大胆な税金の使い道を提示しながら、様々な税の使われ方を説明。税の使い道には様々な発想ができることを伝える。 ・続いて、生徒が佐賀県知事候補者になったつもりで「佐賀県予算」を考える。 ・生徒3人が候補者として「佐賀県予算」を発表。まさに選挙さながらの盛り上がり。 ・18歳選挙権で、近い将来自分たちが政治を通して税の使い道に関わっていくことも、最後に伝える。

<優 秀 賞>

*掲載順番は局連順です

局 連	実施会・対象・ 参加人員	概 要
関東 信越	○新潟（新潟） ○小学6年生 ○20クラス 689名	<p>【大人へのステップ！ 税と社会のしくみを考えよう！】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらい:税の使途、選挙制度等、社会のしくみを一体的に演習し、税や政治に関する多様な意見への傾聴と主権者としての意見の大切さを促す。 ・工夫:①GIGAスクール(学習指導要領)対応。②タブレット活用での事前学習(マリンとヤマト、NHK教材視聴)の導入～アクティブラーニングを実現するためのグループワーク中心の出前授業。③アプリを活用した効率的なグループワーク、選挙制度までの演習。 ・特徴:①GIGAスクール対応の授業フォーマット化。②フォーマット化による普及(学校側での内製化支援)。③継続性(部会員のスキルに依存しない授業展開)。④公益性(新潟市租税教育推進協議会、教育委員会、税務署、県・市税部等への租税教育フォーマットの波及)。

<優 秀 賞>

*掲載順番は局連順です

局 連	実施会・対象・ 参加人員	概 要
熊 本	○都城（宮崎） ○小学5～6年生 ○（バスツアー） 30名～40名 累計200名 （租税教室） 累計40校/1221名	<p>【～人を思いやり、支え合う心～ 未来を担う子供たちに私たちができること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが税を大切に思い、将来納めることを前向きにとらえるだけでなく、一緒に今からできることはないか考え、行動するきっかけをつくる租税教育活動を実施。 ・「租税戦士セイバー」と公共施設をめぐり、職場体験、まちづくりワーク、自由研究作成までできる一貫したオリジナルバスツアー。 ・人生ゲームを用いた中学生向け租税教室が各メディアで取り上げられ、小学校からも依頼を受ける。 ・税について楽しく学び、税とSDGsを関連させ、貢献できることは何か考え、視野を広げる租税教室。

<奨 励 賞>

*掲載順番は局連順です

局 連	実施会・対象・ 参加人員	概 要
東 京	○豊島（東京） ○税に関する絵はがきコンクール受賞者並びに税に関する標語受賞者 ○受賞者・保護者、学校関係者342名来賓・スタッフを含め総数425名	<p>【子ども達を褒めて教える租税教育 ～豊島子ども秋の表彰式～】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦割りで個々に実施していた従前のやり方から視点を変え、区、税務署、教育委員会、間税会、法人会を交えたオール豊島で取り組む「子どもたちが主役の子ども達を褒めて教える租税教育」の場、「豊島子ども秋の表彰式」を中心に企画・運営する。 ・青年部会は、表彰式の企画、関係機関との調整、法人会内での連携、表彰式当日の運営を担う。
東 京	○大和（神奈川） ○小学生とその保護者 ○税金ビンゴ教室：7クラス220名、税金ビンゴ大会：19名	<p>【税金ビンゴ ～遊びながら税を学ぼう～】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税にまつわるキーワードでビンゴカードを作成。 ・カードの右側に解説を入れ、税について復習が可能。 ・大人数でイベントとして開催が可能。また、コロナ禍で少人数の開催が出来るように配布用DVDも作成。 ・各小学校や学童等にビンゴカードとDVDを配布し、講師がいなくても税について学べるシステム。 ・ゲーム感覚で学ぶため、小学校低学年の学習が可能。

<奨励賞>

*掲載順番は局連順です

局 連	実施会・対象・ 参加人員	概 要
札幌	<p>○旭川中・東 (北海道)</p> <p>○小学6年生および 児童</p> <p>○(租税教室)小学6 年生および家族の 約100名21校、 (子ども税金コー ナ)児童約80名、 運営側として大学 生14名</p>	<p>【大会を機に進化した租税教育活動～大学生とのコラボ 事業～】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民参加型の複合イベントとして「租税教室」と「市長は君だ！子ども税金コーナー」を実施。 ・事業の運営に北海道教育大学の学生も参画。 ・「市長は君だ！子ども税金コーナー」は当地での全国青年の集い開催を機に、近隣法人会との連携事業として企画。 ・児童と個別に対面問答しながら税金クイズや税の使い途を考える内容。 ・大学生とのコラボ事業として租税教室とあわせて継続実施している。
仙 台	<p>○仙台北(宮城)</p> <p>○小学6年生</p> <p>○総学校数：21校 総勢：1729名</p>	<p>【こころ動かすこども議会～租税教室改革～】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課外授業の一環としてどの学区でも継続して学べるような取り組みとして、独自のゲームを通して税込とその使い道をテーマにした町づくり行い学ぶ内容。 ・授業の最後に、学んだ税の使い道を基礎とし、自分たちが通う小学校とその周辺地図との整合を行う。 ・全員参加型のゲームによる授業を行ったことで、子どもたちの真剣な眼差しと笑顔が溢れる租税教室を実現。 ・子どもたちから多くの感想文をいただき、テレビや新聞の取材を受けたことで、今まで以上のより大きな租税教室の輪が広がるキッカケづくりとなった。
名古屋	<p>○鈴鹿(三重)</p> <p>○小学6年生</p> <p>○11小学校 30クラス 900名</p>	<p>【租税教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子供達に記憶に残る租税教室」をテーマに実施。 ・授業を聞くだけでなく参加型とし、子供たちが税金の使い方をグループディスカッションして結果を発表。 ・大学生を講師として養成し、実際に教える立場を体験することで、社会に出る前に再度、税の大切さを実感してもらう。 ・誰でも記憶に残る租税教室を実施できた結果、学校から来年も継続してほしいとの依頼が来るようになった。

<奨励賞>

*掲載順番は局連順です

局 連	実施会・対象・ 参加人員	概 要
金 沢	○高岡（富山） ○小学校5年生及び 保護者 ○小学5年生58 名、兄弟15名、 保護者58名	<p>【タックスクエスト～学校の謎～ 税金ってなんだろう？ 親子で学ぼう租税教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA 親子活動の一環として実施。 ・「税について知る」を目的に、「学校関連にどのくらい税金が使われているか知る・学校の備品の価格を知って、大切に扱う心を養う」を目標として実施。 ・オリエンテーリング形式で校舎内をまわり備品（ピアノや黒板、机椅子等）の価格を3択クイズ形式で出題。 ・続いて青年部会メンバーから「税収とその使われ方」について簡単に説明後、クイズ成績優秀者を表彰して終了。 ・シナリオや作成したチラシなどは本法人会 HP にて公開を予定。各地の法人会で自由に閲覧・使用していただきたい。派生プログラムの公開も検討中。
広 島	○広島東（広島） ○小学6年生 ○小学6年生5クラ ス170名	<p>【大人の本気、子どもたちの声を聴こう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人が本気で講師を取り組むことで子どもたちに伝わる授業を行う。 ・生徒との心の距離を縮めるために「本気のじゃんけん」を行い、それによって一体感が生まれ、授業を活発にする。 ・豪雨災害をテーマに生徒が子供、父母、祖父母になりきり思いやりの心を持って、税金の使い方について真剣に議論を行う。 ・過去のアンケートを基にして、授業内容をブラッシュアップし、継続性のある租税教室活動を実施。
高 松	○鳴門（徳島） ○小学6年生 ○R1：18校34クラ ス928名 R2：15校29クラ ス714名	<p>【租税教育活動 継続と拡大】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前から租税教育活動を実施していたが、租税教室では講師が少なく、実施できなくなるおそれがあった。 ・そこで「継続と拡大」をテーマとして議論を重ね、「現在実施している基本的な租税教育をより多くの未来を担う子供たちに届けることが大事」との結論に至る。 ・具体的な取り組みとして、講師の増員、未開催校への開催依頼などを実施。 ・その結果、複数の学校への同時派遣も可能になるほど講師も増え、管内小学校での実施率100%を達成。